



ちば市老連だより

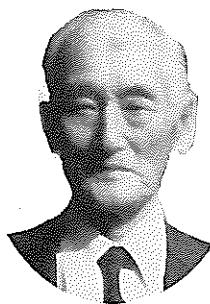


ねんりんピック“93京都”千葉市選手団の堂々たる入場大行進

目 次

発刊のことば	……千葉市老人クラブ連合会長 波多野 透	2
発刊によせて	……千葉市市民生活局長 勝田 明徳	2
市老連のあゆみ		3
平成5年度事業実績一覧表		4
平成5年度一般会計収入・支出予算		5
千葉市老連区別会員数		5
写真で見る諸行事のスナップ		6
平成4年度各部の活動について		12
千葉市の老人クラブ第一号の自負	……田中 けい	14
訃 報		15
編 集 後 記		15

発刊のことば 千葉市老人クラブ連合会会長 波多野 透



わが千葉市老連はさきに、創立30周年を迎え、千葉市長はじめ、全老連会長（代理）ほか多数のご来賓のご臨席を得て盛大に記念式典を挙行いたしました。

これも偏に市当局並びに関係各機関の長年月に亘る適切なご指導とご援助によることは固より、歴代会長を中心とする役員と会員各位の団結ご協力の賜物であります。

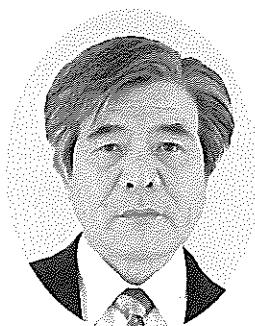
なお、ここで忘れてならないのは、本会の草創時代より、市老連をこよなく愛しはぐくみ育ててこられた多くの先達会員各位のご功績で自ら頭の下がる思いがいたします。

ここに改めて心から厚く敬意と感謝の意を表します。

市老連は、昭和37年5月創立、当時、クラブ数僅か15、会員数約1000名程度の小規模の市老連が今や、クラブ数約400有余、会員数も約21000名を擁する大都市型老連に発展し、平成6年度を期して千葉県老連より分離独立するまでに至り、今昔の感に堪えません。今後は、従来の実績を謙虚に省み、政令指定都市の市老連として会員各自が自覚すると共に21世紀の高齢化社会に組織活動を通じ社会参加し、市民の皆様のご期待に応えたいと思います。

想うに、本会創立後、年々、会員数も増加の一途を辿り、会員相互の情報交換の要に迫られ、去る昭和46年に、会報『躍進』第一号を発刊しました。しかし、その後、本会の諸般の事情で第19号をもって休刊の止むなきに至りましたが、最近期せずして『躍進』の復刊の要望が強く、これに応えるため、政令指定都市移行を契機に、この度『躍進』に替わる『市老連だより』を発刊することにいたしました。この企画が今後、挫折することなく益々充実し、会員間の情報交換に役立ち、愛される情報紙として発展することを祈念し、「発刊のことば」といたします。

発刊によせて 千葉市市民生活局長 勝田明徳



このたび、千葉市老人クラブ連合会におかれましては「千葉市老連だより」が発刊されますこと心よりお喜び申し上げます。

千葉市老人クラブ連合会は、昭和37年5月に発足され、現在は405クラブ、会員数21000名を擁する県下随一の大規模な組織として、飛躍的な発展をされましたことは、ひとえに関係各位のご努力の賜と感謝申し上げます。

市老連におかれましては、各地域において会員の教養の向上、健康の増進、社会奉仕活動並びに地域社会との交流等を活発に行い、高齢者の生活を健全で豊かなものとしているばかりでなく、明るく住みよい地域社会づくりに多大な貢献をいただいております。

我が国におきましては、21世紀初頭には国民の4人に1人が65才以上の高齢者という、超高齢化社会の到来が予測され、本市におきましても、多年にわたり社会に寄与してまいりました、高齢者の方々が家庭あるいは地域社会のなかで、将来にわたって心身ともに健康で生きがいのある豊かな老後の暮らしができるよう諸々の施策が講じられております。

特に、本年度は、新たな施策といたしまして高齢者世帯等住替家賃助成事業、敬老乗車券の支給事業を実施しております。

また、本格的な高齢社会に適切な対応を図るため、このたび「千葉市高齢者保健福祉計画」を策定いたしました、今後は、この計画にそって在宅サービスや施設サービスの一層の充実を図るとともに、各種高齢化施策を積極的に展開し「明るく生きがいに満ちた健康福祉都市」を実現したいと存じます。

今後も、皆様方が健康で幸せな生きがいのある生活を送ることができますよう、なお一層きめ細かな施策の推進に努力してまいりますので、先輩市民としての豊かな経験をもってご指導賜りますようお願い申し上げ、皆様のご健康と、老人クラブ連合会のご発展を祈念いたしましてごあいさつといたします。

市老連のあゆみ

千葉市老人クラブ連合会は、昭和37年に創立され、平成4年5月で30周年を迎えました。

昭和37年の創立当時は約15クラブで会員も約1000名位であったのが、平成5年4月1日現在ではクラブ数405を数え、会員数も約21000名に達し、名実ともに長足の進歩を遂げて、今や政令指定都市の仲間入りとともに大型都市の市老連としての体制強化に専念しています。

この間、昭和57年10月には、創立20周年の記念大会の開催と記念誌発刊の大事業を遂行しました。更に、平成4年11月には創立30周年記念大会を開催し、30周年記念会誌の発刊をすることになりました。

ときあたかも、千葉市は平成4年4月1日より全国12番目の政令指定都市に移行し、6区制が施行をされましたので、千葉市老連においても各区老連を設立することになり、中央区、花見川区、稲毛区、若葉区、緑区及び美浜区老連の6つの区老連が結成されました。

平成4年9月の全老連30周年記念大会には、天皇、皇后両陛下、ご臨席のもと、老人クラブに対し、陛下よりお言葉を賜り、優良老人クラブ団体表彰の部では千葉市老人クラブ連合会は全国老連会長表彰、千葉市轟・弥生老人クラブ延寿会、個人表彰の部では波多野連合会長が厚生大臣より夫々表彰の栄に浴しました。なお、当日の大会宣言は、久力すい市老連副会長が朗読し満場の拍手を浴び、女性会員として大いに面目をほどこしました。

次に、市老連として当面する二つの主要課題について記します。

1、老人福祉会館

(仮称・千葉市総合福祉センター)

標記会館については、市老連の再三の陳情により、去る、昭和54年12月市議会で採択され、その

後、建設用地の問題で具体化が遅延していましたが現在に至り、漸く建設用地も中央区、千葉寺土地整理事業地内に決まり、現在平成8年度着工を予定し、「総合福祉センター設置計画策定委員会」の作業は進行中であります。

2、市老連の法人化

標記の法人化の課題については、平成3年度の定期総会において決議され、その後、事務局(市)サイドで県担当部局と折衝を重ねてきましたが、結論を出すまでに至らず、中断していました。そこでこの度、市老連内に、法人化設立委員会を新たに再発足させ、その具体化に努めることになりました。

想うに、千葉市老人クラブ連合会が、昭和37年創立され、初代会長には当時の花園第一百寿会の会長の税所 荘吉氏(昭和55年1月22日逝去)が就任し、創立の基礎づくりに専任されました。二代会長 石原 精氏(昭和41年より昭和53年5月)は、12年間の長きに亘り、その手腕を振るわれ、市老人クラブ連合会の基礎を確固たるものにされるなど特筆すべきものがあり、三代会長故鈴木長治氏(昭和53年5月25日就任)は、軌道に乗った市老連の発展、向上に寄与され、昭和61年5月には推されて千葉県老連会長に就任されました。しかし、間もなく療養生活が続き、翌年3月急逝され、会員一同深い悲しみにおち入り、今なお惜しみても余りあるものがあります。

四代現会長 波多野 透氏(昭和62年5月就任)に及ぶや、開かれた老人クラブ、大都市型老人クラブの創設に力を尽すと共に、特に女性会員の奮起、登用を促進し、創立30周年記念大会を契機に会員一同、更に本会の活性化に邁進しています。

これも偏えに市当局のご指導、本会役員並びに会員各位の理解と協力によるものでこの目覚ましい躍進は、後世に語り継がれるものと思います。

平成5年度事業実績一覧表

実施期日	会議・行事等	摘要
5. 4. 9	市老連会計監査	中央C.C
5. 12	市職員、市老連新旧役員歓迎会	玉姫殿
20	市老連定期総会	千葉市文化センター
6. 2	新任老人クラブ会長研修会	市役所正庁
7. 16	市老連ゲートボール大会	県遊々広場
19	市老連婦人部研修旅行(2泊3日)	あぶくま洞 智恵子抄ふるさとの旅
8. 6	市老連会員作品展(5日間)	扇屋マリンピア
19	市老連囲碁将棋大会	市役所正庁
22	千葉市親子三代夏祭り参加	会場(千葉市中央公園)
9. 14	市老連指導者研修会	市文化センター
16	千葉市選手団結団式(ねんりんぴっく京都大会 出場選手 134名)	市役所正庁
20	社会奉仕の日	各単位クラブ等が自主的に地元にて奉仕作業を実施
29	第14回会員芸能大会	市民会館
10. 2	全国健康福祉祭京都大会参加(4日間)	京都府内11市町会場
16	第21回市老連大運動会	青葉の森(陸上競技場)
25	第22回全国老人クラブ大会参加	神戸市(市内7会場)
11. 4	会長1泊研修旅行(1泊2日)	会津、若松地方
11	第17回市老連輪投大会	千葉公園体育会館
12. 2	市老連、各区老連社会福祉施設見学会	各区老連独自実施
6	指導者研修会(交通安全講習を含む)	(会場)八千代市市民会館
6. 1. 20	市老連会長新年会	玉姫殿
2. 4	ふれあいの店(3日間)	扇屋マリンピア
16	各区老連研修会(19日迄)	各区老連実施
3. 18	千葉県・県老人クラブ連合会・千葉市老人 クラブ連合会臨時代表者会議	市社福事業団ビル(千葉市老人ク ラブ連合会の独立について)
23	第1回市老連法人化設立委員会(辞令交付)	中央C.C
(5. 9)	北海道南西沖地震義捐金募金 なお、(4年7月)長崎県雲仙普賢岳災害義捐金 募金	募金額 4,227,000円 募金額 4,469,000円

平成 5 年度 一般会計収入・支出予算

収入の部

(単位 千円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
会 費	3,157	3,142	15	421クラブ
補 助 金	8,974	7,823	1,151	
事 業 収 入	496	481	15	特選演芸会ほか
寄 付 金	150	148	2	
繰 越 金	3,783	2,939	844	
雑 収 入	31	31	0	
収 入 合 計	16,591	14,564	2,027	

支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
総 務 費	4,940	3,738	1,202	
会 議 費	1,202	932	270	
事 務 費	1,730	2,504	△ 774	
広 報 活 動 費	600	600	0	市老連だより発刊
指 導 者 育 成 費	2,367	1,857	510	
健 康 づ く り 体 育 費	1,587	1,372	215	
生 活 改 善 対 策 費	1,342	805	537	
社 会 奉 仕 活 動 費	173	163	10	
助 成 費	0	0	0	
負 担 金	1,903	1,940	△ 37	クラブ数、会員数減
慶弔 費	60	0	60	
予 備 費	687	653	34	
支 出 合 計	16,591	14,564	2,027	

千葉市区別会員数 (平成 5. 4. 1 現在)

区別	地区連合会	ク ラ ブ 数	会 員 数	区別	地区連合会	ク ラ ブ 数	会 員 数
中 央 区	中 央	20	1279	稻 毛 区	穴 川	11	668
	登 戸	16	832		北	17	825
	弁 天	11	691		文 葉	5	221
	亥 鼻	25	1367		小 計	54	2889
	寒 川	17	863		若 葉	22	1043
	白 旗	15	874		千 城	21	1165
	松 ケ 丘	5	337		都 賀	11	512
	蘇 我	14	562		白 井	17	606
	生 浜	11	590		更 料	9	306
	小 計	134	7395		小 計	80	3632
花 見 川 区	花 見 川	10	453	緑 区	誉 田	17	891
	こ て は し	12	575		椎 名	8	381
	検 見 川	10	506		土 気	16	688
	朝 日 ケ 丘	12	513		小 計	41~	1960
	幕 張	24	1393		高 洲	16	992
	小 計	68	3440		真 砂	12	431
稻 毛	稻 毛	8	525		小 計	28	1423
	小 仲 台	13	650		合 计	405	20739

写真で見る諸行事のスナップ

言葉なく会話できる1枚の思い出



◀新旧の市職員・地区連会長の歓送迎会 5月12日（玉姫殿）

この日ばかりは、送る者、送られる者が一堂に会しての温故知新の集い。

▶定期総会 5月20日

（千葉駅ビルペリエホール）

平成5年度定期総会は、松井市長、市議会議長はじめ、関係団体のご来賓を迎える、多数の代議員出席のもとに開催。

当日の市長感謝状は12名、市老連会長表彰状は団体22名、個人、89名が、受彰の栄に浴された。



93.7.16

◀ゲートボール大会 7月16日

（県遊々広場）

第13回標記大会は、本年も地区連対抗とし、市長旗争奪の熱戦が展開。

優勝 新都クラブ

準優勝 君待会

第三位 天寿会（A）



◀婦人活動推進部研修旅行

7月19日（2泊3日）

（智恵子抄のふるさと）

久力部長他総勢210名のバス旅行、各号車の車両長適切な配慮で、事故もなく、研修目的達成。

講師…伊藤昭氏（郷土研究家）

テーマ「愛に生きて、智恵子と光太郎」の講演は、女性会員に特に、感動を与えた。

▶会員作品展 8月6日（5日間）

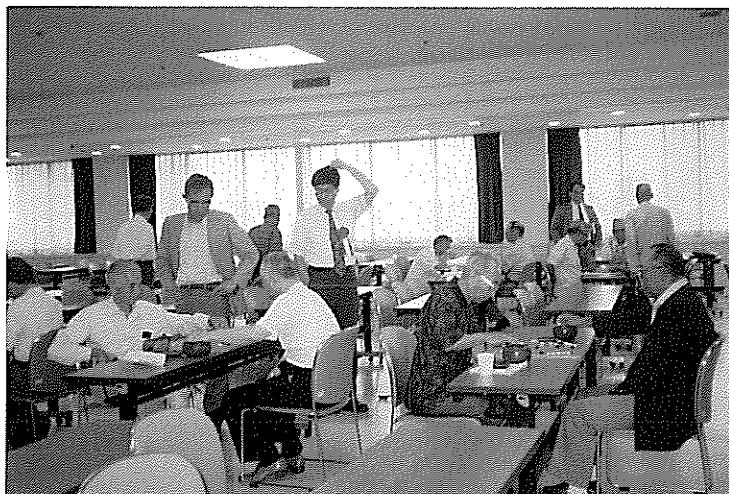
（稻毛マリンピア）

出品は書、絵画、写真、彫刻、及び手工芸等多彩で、見事な出来栄えは参観者を魅了。特に、90歳以上の出品者に贈る「特別敬老賞」の力作には驚嘆の一語あるのみ。

出品点数（手工芸 6 最も多）

出品点数 総数350点

他に参加出品21点



◀囲碁将棋大会

8月19日（市役所正庁）

各地区連から選抜された囲碁（16名）、将棋（14名）の代表選手の他、観戦者が参集、緊張した雰囲気の中で熱戦を展開。

優 勝（囲碁）林氏（緑 区）	（将棋）土屋氏（稲毛区）
準優勝（△）館氏（若葉区）	（△）高畠氏（中央区）
第3位（△）畠氏（緑 区）	（△）宇野氏（中央区）



◀社会奉仕の日

(実施基準日、 9月20日)

全国一斉に「社会奉仕の日」を設定。実施は、一応9月20日前後、地域の担い手としての自覚と活力を示す絶好の機会。女性会員の特性を活かしたわが女性会員活躍のひとこま。

▶会員芸能大会

9月29日（千葉市民会館）

「芸能の世界に年齢なし」を思わせる今年の大会には92歳を筆頭に約470名が出演、大ホールに溢れる大観衆は、繰り出す熱演に楽しい芸能の一日を満喫。

市長賞…小仲台地区

会長賞…平山第一老人クラブ、蘇我地区連、轟弥生老ク延寿会



◀大運動会 10月16日

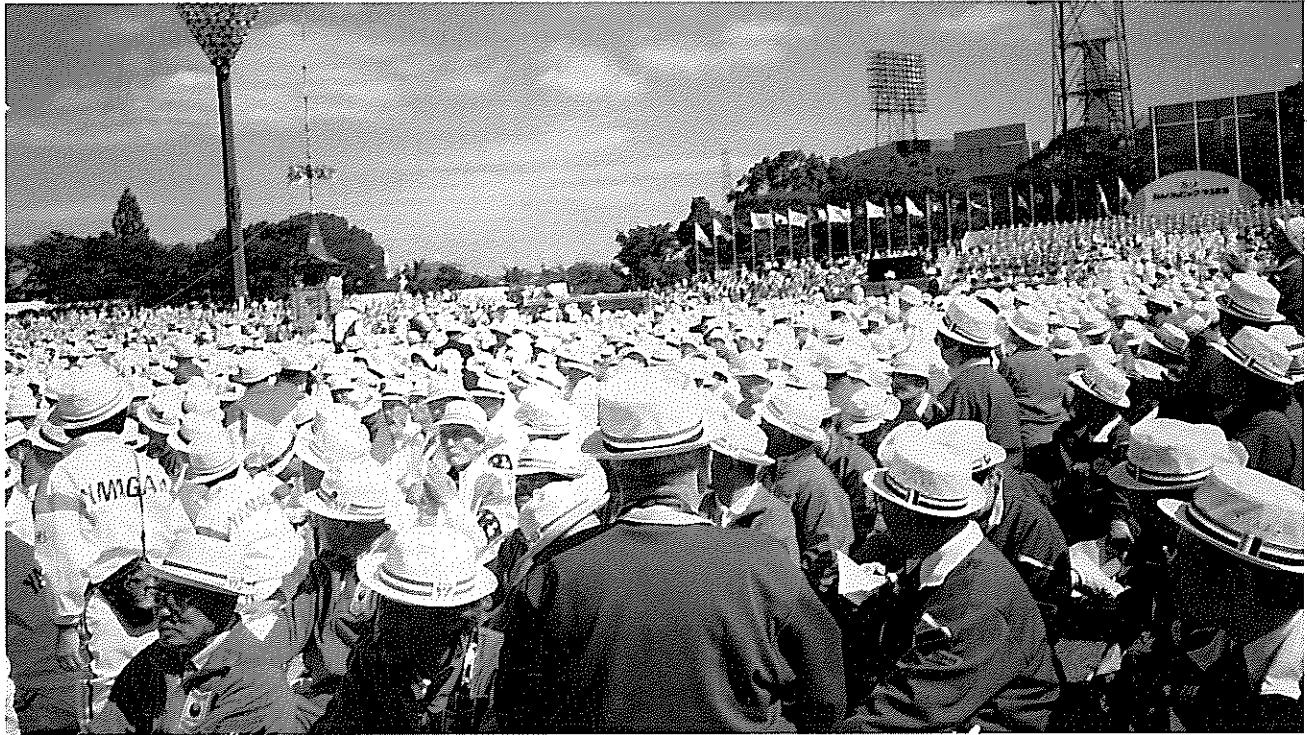
(青葉の森陸上競技場)

会員と家族の健康増進と親睦をかねた伝統の本大会は、松井名誉会長はじめ多数の来賓の臨席のもとに開催、今年は、参加者の出足もよく、開会前に既に、所定の座席は満員、例年に見ない盛況を期待された。併し、正午過ぎから降雨のため、競技種目は一部を割愛して、競技の促進を図

ったが、雨足は強くなり競技続行不能と判断、全面的中止宣言発表。入賞(団体、個人)は、中止までの各地区の合計得点により決定、優勝旗等の授与は屋内で実施。

優勝—幕張地区 準優勝—真砂地区 第三位—こてはし地区

なお、恒例のアトラクション女性会員による「日本の夏ごよみ」と「宇宙太鼓」の総踊りは、約3,500名の大観衆から万雷の拍手を浴びた。



▲入場行進を終了し、中央広場に集まる各選手団

全国健康、福祉祭京都大会 10月2日より4日間（京都府内11市町会場）

秋晴れの西京極運動公園で常陸の宮、同妃両殿下のご臨席のもと開会、シルバー世代の選手約8000人をはじめ三万人が参集、人生80年時代の青春歌をひびかせた。千葉市選手団は、シンポシューム並びに卓球ほか12種目に出場、全国大会参加2回目の新参選手団としては、なぎなた、テニスなど数種目に堂々入賞、政令指定都市としての千葉市の面目躍如の大会となった。



第22回全国老人クラブ大会

(10月25日より3日間、
神戸市内7会場)

全国から約1700名の会員が参集、
メインテーマは、「創造と連帯を拡げて心豊かな21世紀を築こう」これまでの活動の成果をもちより、7つの研究部会で夫々、事例発表を基調

とする熱心な討議が行われた。

各部会で取り上げられた課題については、後日、第3次研究委員会で検討を加えることとした。終りに、大会宣言が、朗読されて無事大会は終了した。



◀会長1泊研修旅行

(11月4日) (会津・若松市)

研修会一行131名を乗せたバス3台は紅葉と歴史の街会津へと向う。途中、猪苗代湖畔の野口英世記念館見学、研修会は大川荘ホテルにて開催、講師、早川広中氏(元、若松市長)

テーマ 「会津の歴史について」のお話は解り易く、特に白虎隊員の人物像にもふれられ、一同興味深く受講。



▲輪投げ大会 11月11日

(千葉公園体育館)

◇団体戦

優 勝	白旗地区連
準優勝	幕張地区連
第三位	弁天地区連

◇個人戦 (男子の部)

優 勝	土屋氏
準優勝	鈴木氏
第三位	新川氏

(女子の部)

優 勝	浮田さん
準優勝	今泉さん
第三位	柏原さん

本年で第17回目を迎える大会は、多数の応援者の声援を受けながら、競技は団体戦と個人戦に分け、地区連対抗形式で実施、又個人戦は更に、男子、女子に分けて順位を決定。



◀平成6年会長新年会

(平、6、1、20) 玉姫殿

政令指定都市移行3年目の新春を迎える松井市長代理中橋助役並びに清野市議会議長ほか多数のご来客の御臨席を賜り会員一同感激、

恒例の鏡開きを皮切りに懇親会は、次第に盛り上がりを見せた。
(写真は清野議長と波多野会長の力強い鏡開き)

▼千葉県・県老人クラブ連合会・千葉市・市老人クラブ連合会

臨時代表者会議 平、6年3月18日 (市社福事業団ビル)

当日は市老連の独立についての経過報告と県老連並びに市老連

両者の今後の活動につい

て説明があった。次いで市老連会長より永年に亘る県老連のご指導、御協力に対する謝辞が述べられた。最後に小川県老連会長と波多野市老連会長が両会の益々の躍進と友好を祈念して堅い握手が交わされた。(写真は小川会長と波多野会長)



平成四年度市老連各部の活動について

総務部

- 1、定期総会は、新装なった市文化ホールに於いて、5月25日開催されたが、当日の受賞者は、千葉市長の感謝状5名、市老連会長表彰は団体22、個人86名に夫々授与された。因に、市長感謝状は昭和61年度より制定され受賞者は76名に達している。
- 2、恒例の会長新年懇親会は、1月22日『ちば玉姫殿』に於いて開催され、松井市長はじめ来賓の臨席のもとに参会者159名が新春にふさわしい盛り上がりを見せた。

教養部

- 1、生涯教育の一環として実施中の本年度第一回地区別研修会は、各29地区連が夫々6月9日より30日にかけて実施した。
第二回目は自由研修とし11月20日より12月9日の期間に実施された。
第三回は千葉市の政令指定都市移行に伴い、区老連が結成されたので、区老連研修会として6区の各会場にて平成5年2月16日より20日にかけて、各地域の特性を活かした研修会が開催された。
- 2、毎年度実施する会長一泊研修旅行は、11月18~19日の両日、伊豆水明荘（伊東温泉）を会場に開催、「伊豆の文学と歴史について」郷土史研究家の保坂氏の講演があり、受講者一同に感動を与え、帰路、元箱根成川美術館を見学する等研修の実を挙げることができた。

文化部

- 1、民踊講習会（6月5日と9月22日）及びユニークダンス（7月7日と9月4日）を夫々、千葉公園体育館で開催したが、参加者は両行事共延べ400名に達した。
- 2、作品展示会は8月12日から6日間、稲毛マリンピアにて開催、出品点数は509点に達し、本年度より市長賞が追加された。
- 3、老化防止と頭の体操を兼ねた囲碁、将棋大会は8月5日、市正庁8階にて開催され、参加者は58名で入賞者には夫々賞状と盾が授与された。
- 4、芸能大会は、9月30日、市民会館に於いて、本年も地区対抗で挙行され、参加チーム41、参加者は約1000名に達する盛況さで、その上、出場チームはいづれ劣らぬ芸達者で毎年、上達のあとが見られ、会場は、終日楽しいムードに包まれた。

(柴崎玉吉副会長 記)

保健部

- 1、ゲートボール大会
本年度の第12回G B大会は、政令指定都市移行記念行事の一環として7月16日「遊々広場」で開催された。参加チームを16コートに分けてリンク戦を行い、その優位チーム各1チームを決め、計16チームによるトーナメント戦を行った。優勝は「さわやか」チームで市長杯とメダルが授与され、準優勝は「小倉台東」、3位は「天台福寿会」が入賞した。
- 2、運動会
市老連恒例の第20回運動会は、10月17日『青葉の森』陸上競技場に於いて約2500名の出場者及び応援者参加のもとに盛大に挙行された。

競技種目は、団体と個人戦とし、入賞は5位まで、1位50点、2位40点、3位30点、4位20点、5位10点とし、又個人戦も5位まで入賞としての得点は夫々10、8、6、4、2点とした。なお、この他に準団体競技として地区連会長並びに婦人部長レースとして風船割り競争を行い、この得点を含め団体入賞の順位を決定した。

3、輪投大会

第16回輪投大会は、11月13日、公園体育館に於いて、多数の応援者参集のもとに挙行された。午前は個人戦（3回戦）午後は団体戦（2回戦）が挙行されたが、年毎に、日頃の練習の成果が見られ、優勝は幕張地区、準優勝は白旗地区、3位は若葉地区が入賞した。

1、社会奉仕の日

老人クラブは社会参加の意味を含めて、従来、地元の神社、仏閣をはじめ公園等の清掃作業を自発的に実施してきた。この種の奉仕活動を更に全国的に普及するため、全老連の主導で毎年9月20日を「社会奉仕の日」と定め、この日を中心に単位クラブ毎に奉仕作業を実施することになり、市老連でも奉仕作業の参加者は年々増加傾向がみられる。

2、福祉施設見学

当市内に所在する標記施設が、近来、公、私とも増設されているが、関係者以外は、その所在、内容について未知の面が多いので、その周知を図るため、毎年クラブの指導者を対象に標記見学会を実施している。本年度は、12月2日、老人ホーム「セイワ若松」（特養）を見学した。参加者50名。

（故市村正男副会長 記）

社会奉仕部

広報部

婦人活動 推進部

千葉市老連も、情報化時代の要請に応え、平成4年度、広報部が設立された。

市老連が活発に活動を推進していくためには、会員の声を吸収すると共に、市老連自体の運動のPRも欠かせない条件であり、会員増強のためにも、広報部の活躍は急務といえる。三浦部長を中心に、有力な協力者5名の構成での船出である。

まず、『市老連だより』の名称のもと、春秋二回の発刊を試みることを念頭に、発足したのであるが、30周年記念大会の大行事が入り、この度、創刊号の発刊となったのである。内容は「躍動の千葉市老連」の活動の紹介を主体に出版することになった。

これから編集に当たっては、もちろん、会の活動状況、運営を中心に、親しみを込めて会員の声、会員の視野に立っての紹介等、編集員が足で取材した情報を收拾して、魅力あるものにしたいと思っている。責任の分担、編集技術の問題、編集にあたっての資料の発掘等々、課題は多い。併し幸い千葉市は、6区に分かれているのでその組織力は強力であり、情報の吸収は期待できる。そしてこの広報の発刊が、老人クラブ活動の推進力としての、大きな役割を果たすことになる。

千葉市の政令指定都市発足の記念すべき年に当たり、私たちの従来の婦人部の位置づけを明確にするため、市老連婦人活動推進部と改称（会則改正）して新発足した。温かい仲間づくりがモットーの老人クラブに女性の力に俟つ活動は多いが、女性の

意見を積極的に表現できる場がなければ、運営への反映は容易でない、会則の改正により、活動の担い手として位置づけを得たことは、今後の活動の推進に何よりも嬉しいことである。

1、会則の改正による組織への位置づけの実現、名称の改名等。

第6条、7条の役員の項に仲間入り、専門部規定で市老連活動への協力と、資質の向上、適切な活動が挿入。昭和48年、市老連活動の一環として、婦人の長所を生かすという限られた活動の制約から19年目にして得た位置づけである。

2、平成4年度の活動（研修）の一部紹介

老々の活動を推進していくために、リーダー自身の学習、信念づくりに力点を置く。

7月21日 「婦人活動推進部の役割」（7月21日）

10月21日 老人クラブと女性リーダー（10月21日）

2月26日 これからの老々の活動方向（2月26日）

等指針を明確にして、充電を行った。

3、来年度は、平成4年度の反省のもとに会員の増強、世代間のふれあい活動、地域の助けあい活動の三本柱で、実践活動を軸に、学び合うことにしている。

（久力すい副会長 記）

会員の想い出

千葉市の老人クラブ第一号の自負

花園第一百寿会 田 口 け い



本日は百寿会の三十周年記念のささやかな式典に、市老連の会長様初め県議員の先生方多数ご出席下さいまして誠に有り難うございます。市老連より古い千葉市第一号の百寿会は、今は亡き大和田滝子様の、お年寄りを楽しませてあげようと言う考えから始まったことで、当時お年寄りは年金もなく皆が困っている時代に寂しがっているお年寄りを見て、自宅に呼んでは、茶菓をご馳走し、お話をしたり、歌をうたったりして、慰めておられました。資金はサボテンの苗を皆さんに、十銭で買ってもらったり、その内に近くの女子高の小林先生のお計らいで学校で一括して三百円で買っていただいたり、その他、廃品回収をして、資金の面では一応ほっとしましたそうです。その後、花園地区の民生委員や有志の方々のご賛同とご協力で町中のお年寄りが集まるようになり、昭和三十四年五月二十日には、老人クラブ百寿会として発会式が行われました。出席者は四十七名、それからは、かわるがわる市へ助成金を出して頂くようお願いしたり、色々ご苦労なさったそうです。その後、三年位してから市老連が出来たのではないでしょうか。今では花園地区には、七、八ヶ所位に分かれ老人クラブが出来ました。皆幸せに暮らしております。



市老連初代会長の
故税所莊吉氏

では、皆様のご健康と百寿会の益々のご発展を願ってカンパイ有り難うございました。

(注) 花園第一百寿会は創立34年4月創立

当時の会長は故税所莊吉氏で市老連の初代会長に就任

計 報**灘尾弘吉氏**

全老連会長 瀧尾弘吉氏は、かねてよりご自宅にて、ご静養中のところ、去る、1月22日午前11時病状改まり、94歳のご生涯を閉じられました。

同氏の生前の功績は今更申し上げるまでもありませんが、清廉潔白な政治家として活躍され、多くの国民からも敬慕されるお人柄でした。

謹んで、ご冥福をお祈りします。

市村正男氏

本会副会長 市村正男氏は、昨年、10月下旬、ご自宅前で自転車を操作中お怪我をなされ、入院、手術後一時解放に向かわれましたが その後、余病を併発され11月25日急逝されました。

同氏は、平成 4 年、本会副会長に就任、主に、保健部、社会奉仕部活動を担任され業績の向上に努められ、特に「ゲートボール」については指導的立場でその普及向上に活躍されました。

お 願 い**<会員の皆さん>****：原稿をお寄せ下さい！**

老人クラブの活動や、ひと口提言など、又は俳句、短歌、川柳、何でも結構です。

住所、氏名、クラブの名前も必ず書き添えてください。原稿をお待ちしています！

「送り先」千葉市中央区千葉港 1-1 (千葉市役所高齢者福祉課内)

千葉市老人クラブ連合会

編集後記

千葉市老連の機関紙であった「躍進」が諸般の事情により、長らく休刊していましたが、その後復刊の要望も強く、ここに装いも新たに今回「ちば市老連だより」を発刊することにいたしました。

広報部編集員一同不慣れの者ばかりで、ご期待に添うには程遠き想いです。

今後は、皆様のご指導とご協力を賜りつつ、鋭意努力と研究を重ねることを心に誓い精進いたしますので、何卒お力添えをお願いします。

なお、編集に当たり資料提供などご協力いただいた、波多野透、田中義高両氏にお礼申し上げます。

<編集部員> (広報部)

部 長 三浦 一郎 (美 1)

副部長 百崎 一 (稻 3)

行木 勇 (稻 5)

井上保之助 (若 2)

坂口英美子 (花 2)

編集・発行

千葉市老人クラブ連合会 代表者 波多野 透
千葉市中央区千葉港 1-1 (千葉市役所 高齢者福祉課内)
TEL 043 (245) 5169

創刊号

平成6年度県外研修

講演 永六輔「楽しく生きる」

大江戸助六太鼓ショー
歌謡シヨー

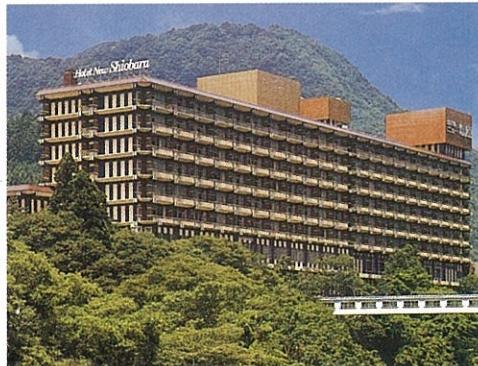


永 六 輔 氏

会場 浦安・東京ベイNKホール

千葉市老人クラブ連合会
共催 千葉県老人クラブ連合会

第1回
東京旅行杯争奪GB大会
in 塩原



ホテルニュー塩原

実施期間 平成6年7月14日～7月16日

参加費用 ¥29,800

豪華参加賞を参加者全員に贈呈

1～3位 東京旅行杯 贈呈

主催 (株)東京旅行千葉支店

申込先 東京旅行千葉支店 ☎ 043-225-6621

第1回 千葉市老連特選演芸会

☆歌謡曲 松平 洋子
曲芸 ボンボンブラザーズ

☆原田直之民謡シヨー



- 開催日時…6月2日
- 会場…千葉市民会館
- 主催…千葉市老人クラブ連合会
- 後援…千葉市
- 企画構成…京葉企画KK.

マリアチャペル 千葉ポートタワー前

ちば玉姫殿 ☎ 043
247-5511

●病院から ●ご自宅葬 ●ホール葬 ●社葬

立派なご葬儀 敬愛の心

ホール会場ご使用料無料

セレモニー

穴川ホール ☎ 255-4444
作草部ホール ☎ 255-4444